

平成30年10月22日

保護者各位

保原高等学校長
(定時制課程)

学校評価・自己評価アンケート結果および後半期の重点事項について（報告）

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校定時制課程の教育活動に対しご理解、ご協力を頂いておりますことにつきまして、あらためて御礼申し上げます。

さて、全生徒及び保護者の皆様にご協力頂き実施（9月）した学校評価・自己評価アンケートについて、その集計結果をご報告いたします（別紙「平成30年度学校評価・自己評価アンケート結果」）。この結果は、各部・教科において、さらに強化し重点化することや改善を要することなどを明らかにするために用い、本年度の後半期に向けた目標を設定するために役立てました（別紙「平成30年度後半期の重点事項【定時制の課程】」）。中間評価を学校経営・運営ビジョンに沿ってご報告いたします。

I 学力向上と学業継続

- 1 授業における各教科での活動においては、今年度も言語活動を重視しつつ、基礎・基本の学び直しを重視した授業の展開をすすめています。また、学級担任による個人面談を年間計画の中に6回位置づけて実施すると共に、教職員全員が参加する学習状況懇談会を2回（5月、10月）開催し、各生徒の特性や能力についての共通理解を図りながら、学業継続の支援につなげています。

学校評価・自己評価アンケート結果からは、「授業では基礎的な内容が多く含まれ、学び直しに役立っている」の項目で、生徒からは93.1%という非常に高い肯定的評価を得ました。これに関連した「授業の内容は興味・関心を持たせるよう工夫されている」の項目についても86.2%となり昨年度より2.5ポイント改善しました。3年続けての改善となりましたが、さらなる授業内容の工夫を行うなど一層の努力をして参ります。また、「学校では、個人面談や個別指導が充実している。」の項目でも肯定的評価が昨年度比で8.0ポイント改善しました。今後も指導方法を常に点検し改善を続けていきます。

- 2 「コミュニケーション能力」を育成するため、グループ学習・作品や資料の読解・発表などの授業形態を展開してきました。自分の考えや意見を他者に伝える力を養い、また他者からも聞くことで互いに理解を深めさせる場としています。

「読む力」を身につけさせるため、読書が習慣化するように指導しています。毎週水曜日（放課後）を図書開館日とし、図書室を積極的に利用するようはたらきかけています。しかし、残念ながら利用する生徒が固定化してきているため、さまざまな機会を利用して読書の大切さについて話し、図書室の利用を呼びかけていきます。

「書く力」を身につけさせるため、総合的な学習の時間を活用し、全校生による漢字コンクールを実施しています。第1回目は7月13日に実施しました。全校生徒（受験者）54名中90点以上が28名（100点満点が5名）、全体の平均点が81.6点という結果になり、漢字コンクールに向けて真面目に練習してきた成果が現れました。

これらの取り組みや事業を継続させることにより、基礎学力（「読む力」、「書く力」）およびコミュニケーション能力を向上させます。

II 規範意識と社会性の育成

- 1 規範意識と社会性の育成に関するアンケート項目では、保護者からは96.0%、生徒からは84.5%と共に高い肯定的評価が得られました。常に生徒達が「社会に巣立った後」の社会性を念頭に置き、保護者・地域の皆様からの協力を得ながら様々な生徒指導を行ってまいります。
- 2 担任との個別面談や保健厚生部が行った健康に関する調査から、不規則な生活習慣と食生活をしている生徒が一定数いることが分かりました。給食では偏食や食べ残しが目立ちます。しかし、自己の健康や安全に関する学校評価・自己評価アンケートでは、生徒の79.3%が「自分の健康や安全について考えている」の項目である程度肯定的な評価をしていました。現状と意識（自覚）にギャップがあるようです。内科検診や歯科検診、食育教室、健康教室等をとおして具体的に問題点をあげ、繰り返し指導してまいります。

III 進路希望の実現

- 1 情報提供として、
 - ①『進路の手引き』 …全生徒へ配付し、進学・就職の流れや手続きについて具体的に提示
 - ②進路教室の実施 第1回6月20日、第2回9月12日
 - ③『進路だより』の発行 10月まで5回発行 …進路希望調査結果、進路教室の内容、会社訪問の情報等を提供学校評価・自己評価アンケートの結果において、卒業後の進路や生き方に関する項目では、肯定的評価は、保護者が82.0%（昨年度比-0.1ポイント）、生徒が89.7%（昨年度比-0.1ポイント）となり、いずれも昨年度比でわずかながら減少しました。生徒、保護者とも、本校の進路指導に対してもっと期待しているのではないかと考えられます。『進路のてびき』の活用、進路教室での意識啓発、進路だよりの配布等による進路指導がさらに効果的なものになるよう、保護者へ積極的な情報提供を行いながら指導を充実させてまいります。
- 2 進路希望の実現に向け、次の指導を行っています。
 - ①担任・進路指導部職員と生徒との進路相談
 - ②担任・進路指導主事と進路アドバイザーとの情報交換（週1回）
 - ③学習支援員による添削指導
 - ④管理職を含めた全教職員による面接指導少人数の利点を生かした、細やかな指導を行っています。指導をとおして生徒の意識を高め、生徒の進路希望を実現させます。

早い時期から進路について考えさせることは、非常に効果的で重要です。将来像を具体的に描かせ、目的を持って学校生活を送らせたいと考えています。

IV 開かれた学校づくり

- 1 学校生活の様子を分かりやすく伝えるため、本校定時制ウェブサイトも活用しています。今回の学校評価・自己評価アンケート結果についてもウェブサイトで公開し、生徒がより充実した学校生活を送ることができるようご意見をお寄せいただいております。

近年、大雨による被害が深刻化、長期化しています。災害による臨時休業など緊急性の高い連絡や各種行事等の大事なお知らせをより確実にそして速やかに連絡するために、生徒・保護者が所有する携帯電話等へメール（39メール）で情報を発信しています。
- 2 安心して給食を食べてもらうために、翌日使う給食食材の放射性物質検査を本校内で行っています。さらに、5食分の食材を県指定の検査機関で検査する県学校給食モニタリング事業も活用しており、二重の検査体制で安全を確保しています。今年度も、すべての給食用食材において検出限界値を下回る「不検出」となっております。

なお、本校定時制で行っている検査結果は本校定時制ウェブサイトで定期的に公開しています。
- 3 本県では11月1日から7日までを「ふくしま教育週間」と定め、その一環として本校定時制では、10月25日（木）に授業を公開します。在校生徒の保護者、近隣中学校の生徒・保護者・教員・教育委員会等の方々に参観していただく予定です。